

地域経済動向レポート

調査時期	2020年4月		対象期間	2020年1～3月		
対象事業所	小規模事業者	商工振興モニター100件 回答99件 (前回99件) 市内金融機関取引先20件 回答14件 (前回15件) 継続調査先100件 回答48件 (前回50件)	業種	小規模回答件数	中企業回答件数	
			建設業	27	3	
			製造業	35	20	
	中企業	役員・議員・委員会・部会・ブロック会から 83件 回答41件 (前回35件)	卸売業	20	4	
			小売業	20	6	
			サービス業	34	5	
全調査対象303件/回答202件 (66.6%)		その他	25	3		
		全産業合計	161	41		
付帯調査	新型コロナウイルス感染症による事業への影響について					

※ **DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)**

①市内小規模の**売上DI**は新型コロナウイルスの影響が出始め (前回△6.7→今回△42.2) 前回に比べ大きく減少、先行きも更に減少の見通し。市内中企業の売上DIも (前回△20.0→今回△53.7) 前年同期比、先行き共に大幅に減少。

中小機構実施の全国小規模の業況判断DIは、1年前より減少が続いており先行きは更に減少傾向 (前回△21.6今回△24.7)。一方、東海財務局が実施する東海地区 (愛知、岐阜、三重、静岡) 中小企業の業況判断も減少傾向。(前回△20.1→今回△27.9)

市内小規模業種別では、新型コロナウイルスの影響が出始め全体的に減少。先行きも更に減少が続く見通しの中、特に製造業・卸売業・小売業は大幅に減少の見通し。

中企業では、製造業・卸売業・サービスの減少が大きく、全産業のマイナスポイントの要因となった。

地域経済動向レポート

②市内小規模の採算DIは、悪化（前回△7.9→今回△37.3）。

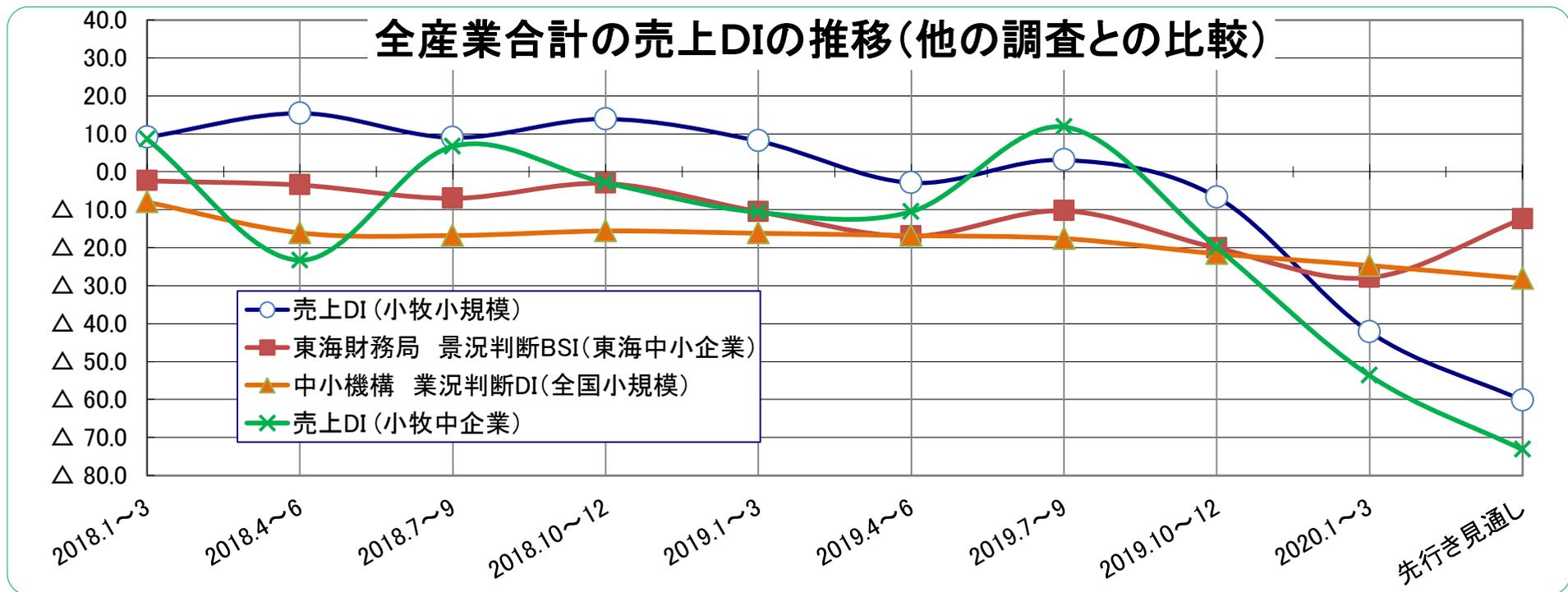
建設・サービス・その他がプラスからマイナスに反転し、全産業において悪化。先行きは更に悪化の見通し。

③市内小規模の資金操りDIは悪化（前回△3.7→今回△29.2）。

建設・サービス・その他がプラスからマイナスに反転し、全産業において悪化。先行きは更に悪化の見通し。

④市内小規模の従業員DIは、2.9ポイント改善（前回△7.9→今回△5.0）。

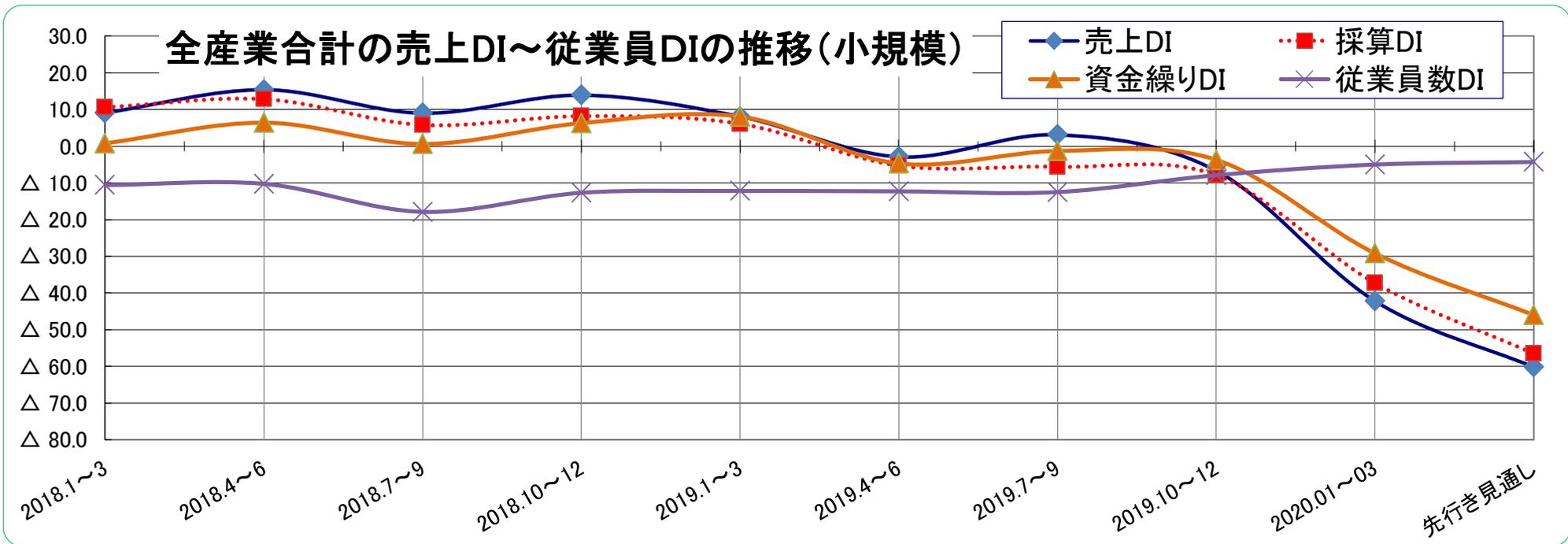
新型コロナウイルスの影響により全体的に事業が停滞しているため人員は過剰気味。先行きは建設・卸・その他がやや不足傾向の見通し。



●全産業合計の売上DI推移

調査実施月	2018.4	2018.7	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	
調査期間	2018.1~3	2018.4~6	2018.7~9	2018.10~12	2019.1~3	2019.4~6	2019.7~9	2019.10~12	2020.1~3	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	9.1	15.4	9.0	13.9	8.1	△ 2.9	3.1	△ 6.7	△ 42.2	△ 60.2
売上DI (小牧中企業)	8.6	△ 23.3	6.7	△ 2.9	△ 10.7	△ 10.5	11.8	△ 20.0	△ 53.7	△ 73.2
中小機構 業況判断DI (全国小規模)	△ 8.0	△ 16.1	△ 16.8	△ 15.6	△ 16.2	△ 16.8	△ 17.6	△ 21.6	△ 24.7	△ 28.1
東海財務局 景況判断 BSI (東海中小企業)	△ 2.4	△ 3.5	△ 7.0	△ 3.1	△ 10.5	△ 17.0	△ 10.3	△ 20.1	△ 27.9	△ 12.4

* 東海財務局 法人企業景気予測調査の「中小企業」の定義：資本金1千万以上1億円未満の企業



●全DIの推移

調査実施月	2018.04	2018.07	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04 (小規模)		2020.04 (中企業)	
調査期間	2018.1~3	2018.4~6	2018.7~9	2018.10~12	2019.1~3	2019.4~6	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	先行き見通し	2020.01~03	先行き見通し
売上DI	9.1	15.4	9.0	13.9	8.1	△ 2.9	3.1	△ 6.7	△ 42.2	△ 60.2	△ 53.7	△ 73.2
採算DI	10.6	12.8	5.8	8.2	6.1	△ 5.3	△ 5.6	△ 7.9	△ 37.3	△ 56.5	△ 34.1	△ 65.9
資金繰りDI	0.8	6.4	0.6	6.3	8.1	△ 4.7	△ 1.3	△ 3.7	△ 29.2	△ 46.0	△ 14.6	△ 39.0
従業員数DI	△ 10.6	△ 10.3	△ 17.9	△ 12.7	△ 12.2	△ 12.3	△ 12.5	△ 7.9	△ 5.0	△ 4.3	△ 17.1	△ 9.8

地域経済動向レポート

●売上DIの推移（小規模）

調査実施月	2018.4	2018.7	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	
調査期間	2018.1～3	2018.4～6	2018.7～9	2018.10～12	2019.1～3	2019.4～6	2019.7～9	2019.10～12	2020.01～03	先行き見通し
全産業	9.1	15.4	9.0	13.9	8.1	△ 2.9	3.1	△ 6.7	△ 42.2	△ 60.2
建設業	△ 16.7	16.7	16.1	24.1	48.3	20.0	13.6	15.4	△ 25.9	△ 48.1
製造業	21.2	32.4	6.3	15.2	△ 6.7	△ 28.9	△ 2.6	△ 29.4	△ 57.1	△ 80.0
卸売業	57.1	△ 6.7	6.7	△ 13.3	△ 16.7	△ 14.3	△ 27.8	△ 16.7	△ 45.0	△ 70.0
小売業	△ 9.5	△ 20.0	△ 40.9	△ 18.2	△ 9.5	△ 4.3	△ 10.0	△ 52.4	△ 60.0	△ 70.0
サービス業	28.6	24.3	31.4	31.6	11.4	17.9	26.3	21.6	△ 47.1	△ 58.8
その他	△ 8.3	20.0	19.0	19.0	0.0	△ 8.0	0.0	9.1	△ 16.0	△ 32.0

売上DIは、新型コロナウイルスの影響が出始め全体的に減少。先行きも更に減少が続く見通しの中、特に製造業・卸売業・小売業は大幅に減少の見通し。

●売上DIの推移（中企業）

調査実施月	2018.4	2018.7	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	
調査期間	2018.1～3	2018.4～6	2018.7～9	2018.10～12	2019.1～3	2019.4～6	2019.7～9	2019.10～12	2020.01～03	先行き見通し
全産業	8.6	△ 23.3	6.7	△ 2.9	△ 10.7	△ 10.5	11.8	△ 20.0	△ 53.7	△ 73.2
建設業	—	△ 100.0	0.0	50.0	100.0	100.0	100.0	33.3	△ 33.3	△ 66.7
製造業	0.0	△ 16.7	15.8	5.3	△ 35.3	△ 17.4	△ 5.6	△ 47.1	△ 75.0	△ 80.0
卸売業	20.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 66.7	0.0	0.0	△ 50.0	△ 100.0
小売業	75.0	△ 33.3	25.0	20.0	0.0	0.0	50.0	△ 40.0	△ 50.0	△ 50.0
サービス業	△ 20.0	△ 40.0	0.0	△ 66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	△ 60.0
その他	△ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	△ 33.3	△ 66.7

地域経済動向レポート

●採算DIの推移（小規模）

調査実施月	2018.4	2018.7	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	
調査期間	2018.1~3	2018.4~6	2018.7~9	2018.10~12	2019.1~3	2019.4~6	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	先行き見通し
全産業	10.6	12.8	5.8	8.2	6.1	6.1	△ 5.6	△ 7.9	△ 37.3	△ 56.5
建設業	△ 5.6	13.3	9.7	13.8	27.6	27.6	9.1	7.7	△ 18.5	△ 33.3
製造業	15.2	29.4	9.4	6.1	△ 10.0	△ 10.0	△ 7.7	△ 35.3	△ 51.4	△ 77.1
卸売業	42.9	6.7	0.0	△ 13.3	8.3	8.3	△ 22.2	△ 8.3	△ 45.0	△ 65.0
小売業	0.0	△ 15.0	△ 27.3	△ 9.1	4.8	4.8	△ 20.0	△ 47.6	△ 45.0	△ 70.0
サービス業	32.1	21.6	22.9	18.4	5.7	5.7	5.3	18.9	△ 44.1	△ 55.9
その他	△ 8.3	0.0	4.8	19.0	0.0	0.0	△ 8.7	9.1	△ 16.0	△ 36.0

採算DIは、建設・サービス・その他がプラスからマイナスに反転し、全産業において悪化。先行きは更に悪化の見通し。

●採算DIの推移（中企業）

調査実施月	2018.4	2018.7	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	
調査期間	2018.1~3	2018.4~6	2018.7~9	2018.10~12	2019.1~3	2019.4~6	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	先行き見通し
全産業	△ 11.4	△ 36.7	△ 10.0	2.9	△ 10.7	2.6	17.6	△ 17.1	△ 34.1	△ 65.9
建設業	—	△ 100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	33.3	△ 33.3	△ 100.0
製造業	△ 37.5	△ 27.8	△ 10.5	5.3	△ 41.2	△ 4.3	11.1	△ 35.3	△ 40.0	△ 65.0
卸売業	40.0	0.0	△ 50.0	△ 33.3	50.0	△ 33.3	20.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 75.0
小売業	25.0	△ 66.7	△ 25.0	0.0	25.0	28.6	33.3	△ 20.0	△ 50.0	△ 50.0
サービス業	△ 20.0	△ 60.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 60.0
その他	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	△ 33.3	△ 66.7

地域経済動向レポート

●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	2018.4	2018.7	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	
調査期間	2018.1~3	2018.4~6	2018.7~9	2018.10~12	2019.1~3	2019.4~6	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	先行き見通し
全産業	0.8	6.4	0.6	6.3	8.1	△ 4.7	△ 1.3	△ 3.7	△ 29.2	△ 46.0
建設業	5.6	6.7	△ 3.2	0.0	20.7	12.0	18.2	3.8	△ 18.5	△ 29.6
製造業	3.0	8.8	3.1	15.2	10.0	△ 21.1	△ 7.7	△ 14.7	△ 34.3	△ 62.9
卸売業	0.0	6.7	△ 13.3	△ 6.7	16.7	△ 9.5	△ 5.6	△ 4.2	△ 25.0	△ 45.0
小売業	0.0	△ 15.0	△ 9.1	0.0	0.0	8.7	△ 15.0	△ 19.0	△ 35.0	△ 60.0
サービス業	7.1	13.5	14.3	7.9	0.0	△ 5.1	0.0	5.4	△ 38.2	△ 50.0
その他	△ 12.5	10.0	0.0	14.3	4.8	△ 4.0	4.3	4.5	△ 20.0	△ 24.0

資金繰りDIでは、建設・サービス・その他がプラスからマイナスに反転し、全産業において悪化。先行きは更に悪化の見通し。

●資金繰りDIの推移（中企業）

調査実施月	2018.4	2018.7	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	
調査期間	2018.1~3	2018.4~6	2018.7~9	2018.10~12	2019.1~3	2019.4~6	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	先行き見通し
全産業	△ 5.7	△ 13.3	△ 3.3	△ 2.9	3.6	△ 13.2	△ 2.9	△ 5.7	△ 14.6	△ 39.0
建設業	-	△ 100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	△ 100.0	33.3	0.0	△ 66.7
製造業	△ 6.3	△ 11.1	△ 10.5	△ 5.3	△ 23.5	△ 21.7	△ 11.1	△ 17.6	△ 20.0	△ 35.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	△ 33.3	0.0	△ 20.0	0.0	△ 50.0
小売業	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	33.3	0.0	△ 16.7	△ 33.3
サービス業	△ 20.0	△ 20.0	0.0	△ 33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	△ 20.0	△ 40.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	△ 33.3

地域経済動向レポート

従業員数DIの不足感が強い場合マイナス値になる様変更しました。

●従業員DIの推移（小規模）

調査実施月	2018.4	2018.7	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	
調査期間	2018.1~3	2018.4~6	2018.7~9	2018.10~12	2019.1~3	2019.4~6	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	先行き見通し
全産業	△ 10.6	△ 10.3	△ 17.9	△ 12.7	△ 12.2	△ 12.3	△ 12.5	△ 7.9	△ 5.0	△ 4.3
建設業	△ 11.1	△ 23.3	△ 19.4	△ 20.7	△ 24.1	△ 20.0	△ 31.8	△ 11.5	△ 3.7	△ 11.1
製造業	△ 18.2	△ 2.9	△ 12.5	△ 3.0	△ 3.3	△ 2.6	△ 12.8	△ 8.8	△ 5.7	0.0
卸売業	0.0	0.0	△ 26.7	△ 13.3	△ 8.3	△ 14.3	△ 11.1	△ 8.3	0.0	△ 5.0
小売業	0.0	△ 10.0	△ 13.6	△ 9.1	△ 14.3	△ 13.0	△ 10.0	△ 14.3	△ 10.0	5.0
サービス業	△ 14.3	△ 5.4	△ 20.0	△ 13.2	△ 5.7	△ 17.9	△ 7.9	△ 2.7	△ 5.9	△ 5.9
その他	△ 8.3	△ 20.0	△ 19.0	△ 19.0	△ 19.0	△ 8.0	△ 4.3	△ 4.5	△ 4.0	△ 8.0

従業員DIは、新型コロナウイルスの影響により全体的に事業が停滞しているため人員は過剰気味。先行きは建設・卸・その他がやや不足傾向の見通し。

●従業員DIの推移（中企業）

調査実施月	2018.4	2018.7	2018.10	2019.1	2019.4	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	
調査期間	2018.1~3	2018.4~6	2018.7~9	2018.10~12	2019.1~3	2019.4~6	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	先行き見通し
全産業	△ 37.1	△ 46.7	△ 30.0	△ 52.9	△ 35.7	△ 42.1	△ 47.1	△ 31.4	△ 17.0	△ 9.8
建設業	—	△ 100.0	0.0	△ 50.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	33.3	△ 33.3	△ 33.3
製造業	△ 31.3	△ 44.4	△ 31.6	△ 57.9	△ 41.2	△ 30.4	△ 44.4	△ 29.4	△ 5.0	△ 5.0
卸売業	△ 20.0	△ 50.0	0.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 60.0	△ 60.0	△ 25.0	△ 25.0
小売業	△ 25.0	△ 66.7	△ 50.0	△ 80.0	0.0	△ 57.1	△ 66.7	△ 60.0	△ 16.7	△ 16.7
サービス業	△ 60.0	△ 40.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	0.0	△ 33.3	△ 40.0	0.0
その他	△ 50.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 33.3	0.0

地域経済動向レポート

業況感と業界として当面している問題等に関する声（小規模）

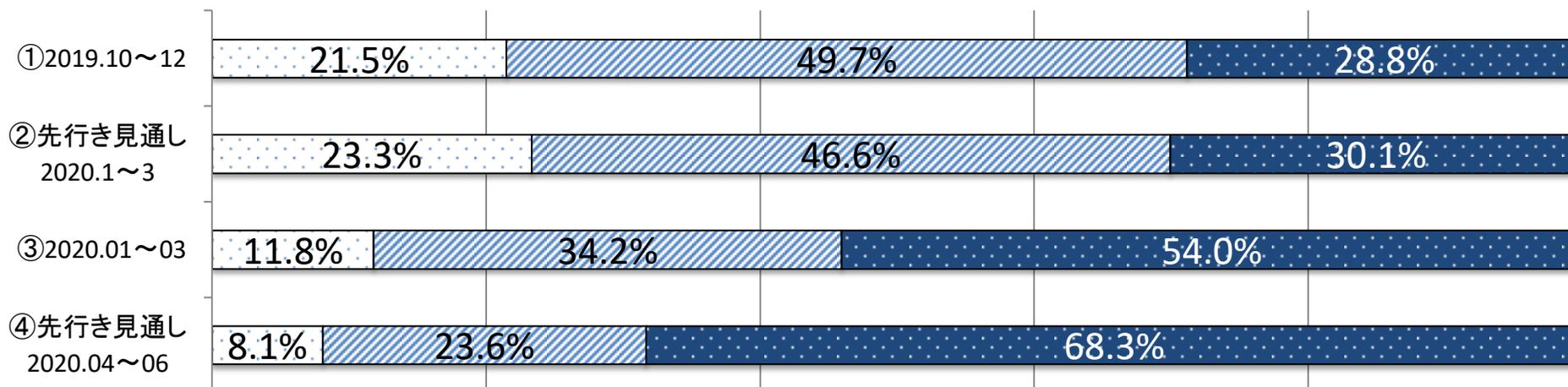
建設	5Gの推進に際して受注もあるが工事部材が輸入品のため施工が滞り始めている。 コロナウイスの影響で顧客の工場への立ち入り禁止が1ヶ月あった。
製造	コロナウイルスの影響で中国より資材が入らない。市場が停滞。 コロナの前H29年からよくない。年商6500~6700万におちこんだまま横ばい。3月末でパート3人をリストラした。
卸売	コロナの影響。中国製品が入荷しない。小規模な得意先小売店の支払いが滞る。 コロナウイルスの影響で、販売先の展示会・個展の開催が延期され製造が減少のため販売も減少。
小売	新型コロナウイルスの影響でイベント中止で出店できなくなったり、会議やミーティング中止によりお弁当のキャンセルが相次ぎ、全てにおいて悪化している。 子どもと出かけられないため子連れのお客が多い。
サービス	団体客の予約がなかったため。（飲食） カルチャースクール、学習塾を休み、センターを閉館している状況のため。（学習塾） 海外関連の仕事がピタッと止まった。（ソフトウェア）
その他	年度替わり移動において、入居者数が減少したため。（不動産） コロナウイルスの影響で輸送数の減少。加工収入の大幅減少。（運送）

業況感と業界として当面している問題等に関する声（中企業）

建設	コロナウイルスの影響で客減少 現在稼働中土木工事（公共事業）の売上が好調。
製造	新規受注案件も若干あり。客先の受注減少の方が多く売上高が減少。仕事量が不足のため従業員数が過剰になっている。
卸売	新型コロナウイルスの影響で不透明。イタリアをはじめ仕入先のロックダウンの為半年先の商品仕入れに不安。（中国は改善した）
小売	注文した製品がなかなか入荷しない。
サービス	令和2年度よりも3年度の状況が不透明になるもよう。
その他	新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動が収縮。先行きが極めて不透明。金融業界ではコロナの影響を受けている事業所への対応を強化している。

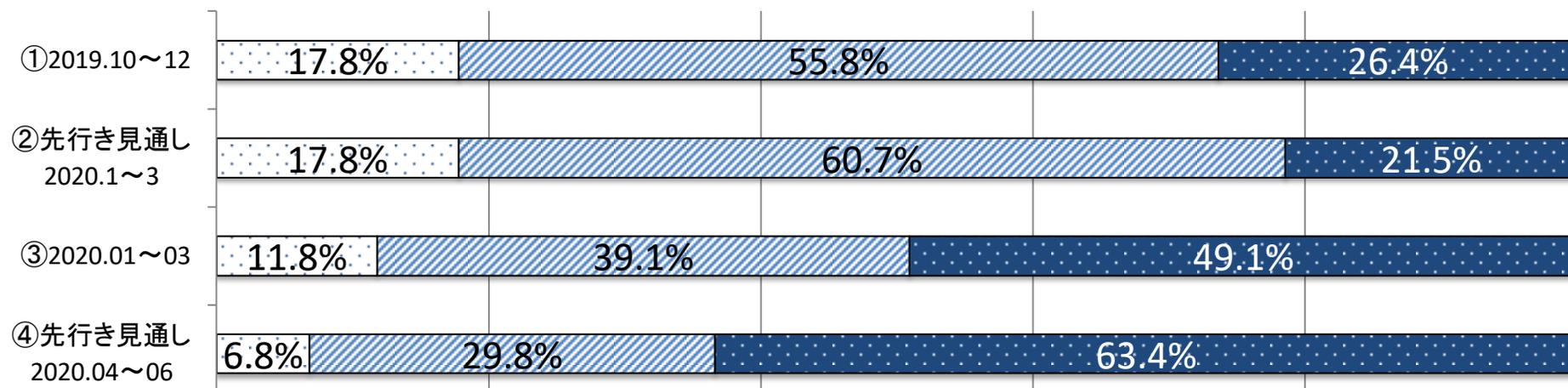
小規模の売上(回答割合)

□ 増加 ▨ 不変 ■ 減少



小規模の採算(回答割合)

□ 好転 ▨ 不変 ■ 悪化

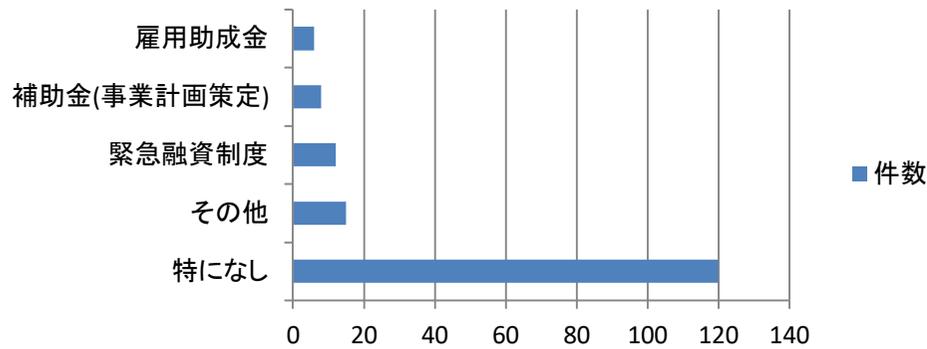


注 前回調査①②の回答件数163 今回調査③④の回答件数161

＜事業活動への影響＞

- ①受講者の減少。セミナーの減少。
- ②来客の減少(テイクアウトは少々増加) 売上の減少
- ③予約のお客様が重ならないように考慮している。同時にお客様の対応ができない。
- ④海外企業とのやり取りはストップ
- ⑤同上記載のように、宴席キャンセルにより、昨対比が約20%減少
- ⑥先行き不透明感による買い控え、全業種落ち込みにより住宅着工減
- ⑦売上8割ダウン。中でも旅行ケースが売れない。
- ⑧職人のマスク完全着用でないと仕事が出来ないため、マスクの入手が困難です。
- ⑨患者さんの減少(高齢者の本人と家族の意向により外出減)
- ⑩学校等が休みのため売上減少。

新型コロナウイルス感染症の影響に対する対策



新型コロナウイルス感染症による事業の対策

調査項目	件数
特になし	120
その他	15
緊急融資制度	12
補助金(事業計画策定)	8
雇用助成金	6
	161

＜必要としている今後の支援＞

- ①今後の現状復帰までの支援
- ②第2段、第3段と補助金などの支援
- ③出勤先にコロナウイルス感染者が出た際の対応について
- ④分かりやすい最新の情報提供
- ⑤マスク不足の解消
- ⑥地産地消を前面に、地域特産品の宣伝
- ⑦今年度の自動車税の免除
- ⑧外国人研修生の雇用維持の支援
- ⑨企業における固定費(家賃や光熱費)の公的補償
- ⑩新型コロナウイルス感染症の対策(BCP)
- ⑪一時金だけでなく、継続的な助成。税金や社会保険料の減免。